

学校紹介 新聞

# 龍ヶ崎市立 龍ヶ崎中学校



- ◆校長 古島 正
- ◆生徒数 299人
- ◆創立 2022年
- ◆住所 龍ヶ崎市3777

議論(ぎろん)を重ねる校則検討委員会の生徒たち



## 生徒主体の活動



## 笑顔増えた校則づくり



大久保音夢



増山劉輝

学校生活をよりよいものにするために、「私たちの学校では開校と同時に生徒会中心の「校則検討委員会」を立ち上げました。今までに検討してきた校則として、靴の色・着替えシステム・髪型などが挙げられます。生徒から意見を集約し、校則検討委員会で協議し、全体に公表するのが校則づくりの流れです。

校則をつくる際に、配慮したことは風紀が乱れないか、保護者や地域の方に理解が得られるかということです。良かったことは生徒の笑顔が前よりも増えたことです。龍ヶ崎中学校は、開校2年目ですが生徒、学校共に日々成長しています。2校の良さ伝統を引き継ぎ、新たな歴史をつくっていききたいと思います。(3年 大久保音夢、2年 増山劉輝)

## こんな学校です!



開校式のあいさつ

# 新しい学校自分たちで

龍ヶ崎市立龍ヶ崎中学校は、2022年に旧愛宕中学校と、旧城南中学校が統合し、誕生した新しい学校です。統合されると聞いた時は、「新しい友達ができるかな」と不安になりました。



そんな中、迎えた開校式。「新しい自分たちの学校を自分たちで創る」という決意を共有し、龍中生としての自覚をもつことができました。さらに、体育祭や合唱祭、生徒総会などの行事を通して、ここ

から新しい龍ヶ崎中学校が創られるのだ、とワクワクしました。

1年間を通して、新しい仲間たちと言葉を交わしたり、いろいろな活動を共に経験したりすることで、すっかり不安は消え、今では毎日を笑顔で楽しく過ごしています。

今後、生徒会役員として、龍ヶ崎中学校のさらなる発展のために、全力を尽くしていきたいと思っています。(3年 大竹悟佑)

リーフリボンを作る生徒たち



## だれもが大切

## リボンで「いじめ撲滅」



リーフリボン運動とは、龍ヶ崎中学校と、龍ヶ崎小学校、大宮小学校、龍ヶ崎西小学校で取り組んでいる、いじめ撲滅のための活動です。旧愛宕中学校では、2007年から取り組んでおり、旧城南中学校と統合し、龍ヶ崎中学校となった今なお、続いています。

児童・生徒が、「わたしは、いじめ・いたづら・いやがらせをしません」という意思表示の証として、リボンを名札に付けています。リーフリボンは、龍ヶ崎市が自然豊かなことから緑色となり、形は全員が付けやすいようにと改良を重ね、今の形になりました。昨年は、龍ヶ崎中学校の生徒が、小学生の分のリーフリボンを作り、それぞれの学校に配付しました。今後もこの活動を続け、児童・生徒みんなが安心して気持ちよく生活できる環境をつくっていきたくです。(3年 天石まりん)

## 地域との交流



完成したならせ餅を龍ヶ崎市長に贈呈

## ならせ餅の伝統を継ぐ



「旧城南中学校から伝統を引き継ぎ、龍ヶ崎中学校でもならせ餅作りを行いました。ならせ餅とは、紅白の餅を木にならせることで無病息災と五穀豊穡を祈願する茨城の伝統行事です。

P.T.Aの本部役員のみなさんの協力のもと、できたての紅白のお餅を丸め、次々に木に付けていきました。生徒みんなで楽しく活動することができ、たくさんのならせ餅ができあがりました。それらを校内の各教室や職場体験でお世話になった地域の事業所に届けました。また、学年生徒会の6人は市役所を訪問し、龍ヶ崎市長、教育長にならせ餅を贈呈しました。

この行事は龍ヶ崎中学校の新たな伝統として私たちの手で大切に引き継いでいきたいと思います。(2年 伊藤愛伽)

次回は8月30日 県立常陸太田特別支援学校です

# 茨城新聞 第14回 新聞感想文コンクール

新聞を読んで感じたこと  
あなたの言葉で書いてみよう



**応募資格**  
小中学校や高校に在学する児童・生徒。  
小学1～3年、小学4～6年、中学生、高校生の4部門

**応募課題**  
2023年1月以降に載った新聞記事を読んだ感想。  
小学1～3年生は家族に記事を読んでもらい、感想を作文にしたものでも結構です。  
※著作権は茨城新聞社に帰属します。作品の返却はしません。

**応募方法**  
①学校単位でも個人でも応募可能(未発表作品で1人1点に限る)  
②募集要項チラシ裏面の専用の原稿用紙(コピー可)か、市販のB4版400字詰め原稿用紙を使用してください。  
③専用の原稿用紙の場合は、記入欄に必要な事項を書くこと。  
市販の原稿用紙の場合は、1ページ目の1行目に題名、2行目に学校名、学年、3行目に氏名(ふりがな)、4行目に新聞名と掲載日を記入し、5行目から書き始めてください。作品の最後に住所、電話番号、保護者氏名を記入してください。  
④原稿用紙と同じ大きさ(B4)の紙に、読んだ記事(コピー可)を貼り、原稿とセットして送付する。  
⑤小学1～3年生は400～600字、小学4～6年生は600～800字、中学生、高校生は800～1200字。  
⑥学校単位で申し込む際は、学校名と応募児童・生徒の名簿(漢字・ふりがな)、担当教諭名、連絡先を添付してください(体裁自由)。

**応募先**  
〒310-8686 水戸市笠原町978-25  
茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係

**表 彰**  
①文部科学大臣賞、知事賞、県教育長賞、茨城新聞社長賞、茨城会長賞など。  
②上位入賞者は、2023年12月、茨城新聞の紙面で発表します。  
③表彰式は、2024年2月3日(水)に水戸市内で開催予定です。

**応募締切**  
2023年11月6日(日) 必着

ご自宅で新聞を購読されていない方は茨城新聞を7日間無料お試し読みできます。  
お申し込みは ☎0120-029-218

■主催:茨城新聞社、茨城新聞茨城会 ■後援:文部科学省、茨城県、茨城県教育委員会  
■協力:県新聞教育研究会、県教育研究会、県学校長会、県高等学校長協会、  
県PTA連絡協議会、県高等学校PTA連合会、県私学協会

お問い合わせ

茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係  
TEL029(239)3030 平日9:00～17:00

または右のQRコードからHPへ  
お申し込み ☎0120-029-218